

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	市営住宅維持管理事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	総務部				課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	1954(S29)年度		年度	～	年度まで		
根拠法令等	公営住宅法。枚方市営住宅条例。枚方市営住宅条例施行規則 等						
関係補助金名称				サンセット	～		
関係附属機関名称							

事業対象	メインターゲット	住宅に困窮する低所得者で、高齢者世帯・ひとり親世帯・障害者世帯などの入居世帯					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	低所得者の福祉世帯向け住宅であることから、福祉部門や関係機関との連携をとりながら支援を行う。また家賃滞納者への適切な指導や、減免対象者への減免制度への誘導措置なども併せて行い、入居者の生活の安定を図る。					

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	入居者が、自立し、安心して日常生活がおくれる住宅の供給が出来る状態。					
---------------------------	------------------------------------	--	--	--	--	--

事業概要	住宅に困窮する低額所得者に対して低廉な家賃で賃貸することにより、生活の安定と社会福祉の増進に寄与し、入居者が快適な共同生活を営むことが出来るように住宅施設の適正かつ合理的な管理を行う。					
	津田元町住宅 RC造3階建、平成7年築、延床面積651.98㎡、管理戸数8戸、入居戸数6戸 津田北町住宅 RC造5階建、平成9年築、延床面積1,276.25㎡、管理戸数20戸、入居戸数20戸 ・現入居者に対する家賃決定や使用料の徴収等の入居者管理及び公正な入居者募集。 ・施設の維持管理については(給水設備、エレベーター設備保守点検、消防用設備保守点検)業務委託。 建築物・建築設備定期点検業務等を委託している。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	市営住宅が適正に維持管理されている。				インプット (活動)	必要な維持管理業務を実施する。			

指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		委託料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				委託料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				維持管理委託料の抑制			
	指標種類	単位				単位				単位			
		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100以内	100以内	100以内	100以内	4	4	5	4
	実績					86.14				4			
達成度					86%				100%				
分析					競争入札の結果、令和2年度は委託料が減額された。				年間の維持管理委託の回数は決まっており、例年通りの回数で収まった。				

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	市営住宅が適正に維持管理されている。				インプット (活動)	必要な修繕業務を行う			

指標設定②	指標説明	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
		委託料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				委託料に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式: 決算額/当初予算額×100】				修繕費の抑制			
	指標種類	単位				単位				単位			
		減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	15	15	15	15
	実績					37.40				10			
達成度					37%				150%				
分析					令和2年度は修繕依頼が少なかった				令和2年度は修繕依頼が少なかった				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③						低所得者の福祉世帯向けへの住宅提供				入居者の募集			
指標設定③	指標説明					市営住宅全28戸の入居割合				計画的な入居募集			
	指標種類	単位				単位 %				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	3	1	1	1
	実績					92.80				3			
	達成度					93%				100%			
分析					1戸の空室が入居された				空室3戸の募集をかけた				
ロジックモデル④						市営住宅の維持管理を行うための特定財源の確保				入居者からの家賃等の徴収			
指標設定④	指標説明					特定財源で市営住宅の維持管理等、全て賄うことができる				家賃等の徴収			
	指標種類	単位				単位 千円				単位 千円			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000	8,000
	実績					7,872				7,872			
	達成度					98%				98%			
分析					減免者等の影響もあるが、想定範囲内				減免者等の影響もあるが、想定範囲内				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,156	8,017	5,583		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	7,156	8,017	5,583		
	物件費計	0	0	11,112	15,230	73%	
歳出計		7,156	8,017	16,695			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	7,876	8,437		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	91	1		
	歳入計	0	0	7,967	8,438		
一般財源		7,156	8,017	3,145	6,792		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	市の施設保全計画に基づいた給水設備(津田北町住宅給水ポンプ)の更新工事を実施したほか、個別の設備故障や破損等について直ちに修繕を行うなど適切に住宅の維持管理を行う事ができた。また、3回(2戸)の入居募集を行い、1戸の新規入居があったが、車いす専用住宅については入居がなかった。既存の入居者に対しては、生活困窮者への家賃減免を積極的に実施し、また滞納者への納入指導及び生活支援のための相談などを行った。
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	建設より24年以上経過しており、徐々に老朽化もみられることから、今後も定期的な保全工事と保守点検業務を継続し、必要な場合は修繕を行うなど入居者の安心安全で良好な住環境の維持に努める。また、車いす専用住宅については、募集方法を変更するなど、早期の入居を図る。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	追悼式典事業												
測定年度	2020(R2)年度			部	総務部				課	総務管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		13.平和の大切さを後世に伝えるまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業							
事業期間	不明		年度	~	年度まで							
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称												サンセット
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	戦争で亡くなられた方々及び本市のために殉職された方々の遺族										
	サブターゲット	追悼式典に参列される市民等										
	ターゲットが抱える課題	遺族の高齢化により、参列者数が減少傾向である。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	バリアフリーの会場での開催等、高齢者の方も参列しやすい会場での開催を行い、戦争で亡くなられた方々等を悼しむことができる。											
事業概要	戦争で亡くなられた方々及び本市のために殉職された方々の霊を敬うため、追悼式という名称で式典を開催する事業である。											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	戦争で亡くなられた方々等を悼しむことができる。	遺族の方や参列希望者が参加できる。				高齢者の方も参列しやすい会場での開催を行う。								
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	招待した方の出席率 【算出式: 実際に参列した人数 / 追悼式に招待した方の人数 × 100】				参加人数				開催回数					
	単位 %				単位 人				単位 回					
	指標種類 増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)		100	100	100	100	291	291	291	291	1	1	1	1
実績		0				0				0				
達成度		0%				0%				0%				
分析		新型コロナウイルス感染症の影響により追悼式典の開催を中止したためである。				新型コロナウイルス感染症の影響により追悼式典の開催を中止したためである。				新型コロナウイルス感染症の影響により追悼式典の開催を中止したためである。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.60
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「止職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配直をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」  
 欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,520	6,414	4,785	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	6,520	6,414	4,785	
	物件費計	602	650	0	0	—
	歳出計	7,122	7,064	4,785		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	7,122	7,064	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響により追悼式典の開催を中止した。
-------	---------------------------------

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	一般市民および関係団体に参列の働きかけを行うほか、遺族会と連携し出席率の増加を図る。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	栄典・表彰等事務												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	総務部				課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		3.一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち										
	施策目標		17.誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	～	年度まで		
根拠法令等	枚方市名誉市民条例、枚方市有功者表彰条例、市制施行記念式典表彰に関する要綱、スポーツ及び文化等の褒賞に関する要綱、枚方市後援等に関する要綱						
関係補助金名称				サンセット	～		
関係附属機関名称							

事業対象	メインターゲット	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	【栄典・表彰事務】 栄典等の候補者の人数に対して、実際に受賞できる人数が限られている。
	ターゲットが抱える課題	【市の後援事務】 後援により市の施策の推進に寄与すると認められる事業の確認。

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者が表彰され、受賞を励みとして更なる活躍をされることにより、市政の振興に寄与される状態。 【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業等を後援することにより、公共の福祉及び文化、体育、郷土芸能等の振興に寄与する。
---------------------------	---

事業概要	【栄典・表彰事務】 庁内各課において選考された知事表彰・叙勲・褒章等に該当する候補者を府・国に対し上申する。 【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業の後援名義申請の承認等。
------	---

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		【栄典・表彰事務】 叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者が選考の上、受賞できる。	【栄典・表彰事務】 叙勲・褒章・表彰等に該当する候補者を選考する機会を作る。

指標設定	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	指標種類	増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標									
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					80				100			
	達成度					80%				100%			
	分析					府との協議の中で、府に割り当てられている推薦枠に限りがあることから、達成に至らなかった。				想定通りであった。			

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
		【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業の後援を行う。	【市の後援事務】 市の施策の推進に寄与すると認められる事業の後援名義申請の承認を行う。

指標設定②	指標説明	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)									
	指標種類	増加することが良いとされる指標		増加することが良いとされる指標									
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					100				100			
	達成度					100%				100%			
	分析					承認手続を行ったものがすべて基準を満たすものであった。				承認手続を行ったものがすべて基準を満たすものであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	12,086	8,017	7,975	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	12,086	8,017	7,975	
	物件費計	480	439	41	39	105%
	歳出計	12,566	8,456	8,016		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	12,566	8,456	41	39	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>褒賞については、知事表彰2名、春秋叙勲1名、高齢者叙勲1名、市民スポーツ賞4件、市民文化賞2件の表彰を行った。各種団体等からのイベント等に対する後援等名義は80件、市長賞は20件の申請を受け付けた。春秋叙勲において2名推薦予定であったが、府との協議の中で、府に割り当てられている推薦枠に限りがあることから、推薦不可となったため、春秋叙勲については1名の受賞実績となった。</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	栄典事務の方法・手続きについては事務根拠となる法令等で定められているので、現状のまま継続していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	各種統計調査事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	総務部			課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標	29.市民との情報の共有化を進めます									
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	非選択的事業	区分	非選択的事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	統計法				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	統計情報を求めている人			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	最新の統計資料を得ることができない			
	ターゲットが抱える課題	必要な統計情報が見当たらない			
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	回収した調査票から得られた統計調査結果が市ホームページや統計書に分かりやすく掲載されている状態。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹統計調査(統計法に基づく法定受託事務)を実施</li> <li>・統計書の編集発行</li> <li>・統計調査員の確保</li> </ul>				

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						得られた基幹統計調査結果が適切にホームページや統計書に掲載されている。				統計法に基づく基幹統計調査を実施。			
指標設定	指標説明					公表された最新の基幹統計調査結果がホームページや統計書に掲載できている件数				実施される基幹統計調査数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 調査			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	実績					5	3	3	2	3	2	3	2
	達成度					40%				100%			
分析						国の結果公表時期が遅れており、一部掲載できなかった。				スケジュール通り調査を実施できた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	6.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	145.50
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	23,853	24,051	47,850		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	10,196	7,667	128,419		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	34,049	31,718	176,269		
	物件費計	1,368	1,550	16,020	23,641	68%	
歳出計		35,417	33,268	192,289			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	11,458	9,278	15,802	22,960		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	6	2	4	9		
	歳入計	11,464	9,280	15,806	22,969		
一般財源		23,953	23,988	214	672		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルスの影響で調査困難に思われたが、世帯との非接触方法を取り入れるなどの対策を講じたため、円滑に調査を実施することができた。 また、最新の調査結果をホームページ等で公表することができた。
	【令和2年度調査】 ・学校基本調査(調査期日5月1日) ・工業統計調査(調査期日6月1日) ・国勢調査(調査期日10月1日)
	【令和2年度統計書発行】 ・発行部数 165部
	【統計調査員の確保】 ・令和3年3月31日現在 171人

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	基幹統計調査は統計法に基づく法定受託事務であり、現状のまま継続する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	財産区管理会運営事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	総務部				課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	不明		年度	~	年度まで							
根拠法令等	地方自治法第296条の2第1項及び296条の4第1項 枚方市財産区管理会条例											
関係補助金名称									サンセット	~		
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	財産区管理会										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	財産区管理会が円滑に運営できない。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	財産区管理会が円滑に運営できている状態。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>設置されている23の財産区管理会は、市長が財産区の財産または公の施設の管理、処分、廃止に関する事務を執行するにあたり、審議し同意を与える。</li> <li>財産区の財産または公の施設の管理等を執行する。</li> </ul>											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						財産区管理会が円滑に運営できる。				財産区管理会運営事務を実施する。			
指標設定	指標説明					財産区管理会で決定された案件数				財産区管理会の開催回数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 回			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)					26	26	26	26	12	12	12	12
	実績					20				10			
達成度					77%				83%				
分析					新型コロナウイルスの影響により管理会が開催されなかった財産区もあったことから減少したものと考えている。				新型コロナウイルスの影響により開催できなかった管理会もあった中、10回開催することができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の person 費については、人員配置をもとに平均 person 費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「person 費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員 person 費」「臨時職員 person 費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は person 費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,002	6,085	6,071		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	68	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	6,070	6,085	6,071		
	物件費計	250	683	305	345	88%	
	歳出計	6,320	6,768	6,376			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	250	683	0	0		
	歳入計	250	683	0	0		
一般財源		6,070	6,085	305	345		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	管理会の運営状況は、5財産区で計10回(費用弁償の対象は10回305,000円)
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	財産区財産についての苦情対応や管理方法などの課題については適宜、管理会を開催し、地元住民の代表である管理委員と十分な協議を行い、管理委員が状況を把握し、自ら意思決定できるよう努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	財産区議会運営事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	総務部				課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		30.市民による活発なまちづくり活動を支援します										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	地方自治法第295条 枚方市財産区議会設置条例						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	財産区議会					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	財産区議会が円滑に運営できない					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	財産区議会が円滑に運営できている状態						
事業概要	各財産区の財産管理及び処分等の適正な執行を行うため、議会で審議し議決に基づき事務を執行する。						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					財産区議会が円滑に運営できる。				財産区議会運営事務を実施する。					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				財産区議会(全員協議会含む)で決定された 案件数				財産区議会(全員協議会含む)の開催回数					
	単位				単位				単位					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)						31	31	31	31	8	8	8	8
	実績						26				9			
達成度				84%				113%						
分析				令和2年度は、財産区議会、全員協議会の開催回数がともに前年度と比べて減少したことにより、案件数も減少した。				令和2年度の財産区議会、全員協議会の開催回数はほぼ見込みどおりではあったが、前年度と比べると減少した。						

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	6,039	8,089	5,762		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	6,039	8,089	5,762		
	物件費計	0	0	0	0	—	
	歳出計	6,039	8,089	5,762			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		6,039	8,089	0	0		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は、財産区議会、全員協議会の開催回数が前年度より減少したものの、適切な議会運営に取り組んだ。なお、令和2年度末をもって菅原財産区議会が廃止され、財産区管理会へと移行している。(開催回数:議会 5回、協議会 4回、案件数:議会 17件、協議会 9件)
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も財産区議会の運営が円滑に進むよう適切な議会運営に取り組む。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	財産区財産管理事業												
測定年度	2020 (R2) 年度			部	総務部				課	総務管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標			30.市民による活発なまちづくり活動を支援します									
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	不明			年度	～		年度まで					
根拠法令等	地方自治法第294条等、地方自治法第296条の2第1項及び296条の4第1項、枚方市財産区管理条例、枚方市財産区地域公共事業等交付金交付要綱											
関係補助金名称	サンセット											～
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	各財産区に居住する地域住民										
	サブターゲット	-										
	ターゲットが抱える課題	これまで財産区財産(井溝、ため池、墓地、山林など)の維持管理は、各権利者(水利権者、墓地管理委員会、立木支配権者など)が行っていたが、高齢化の進行や農業用水、材木の利用減少などにより、管理不良物件が増え、財産区基金のない地区は、近隣から財産区財産の日常管理(除草等)に関する苦情があっても対応が困難な状況となっている。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	不要となった財産区財産は処分(売却)、市へ寄付するなど、管理主体を明確にし、適正な財産管理ができる状態。権利者関係同意を要する事務については、権利者からすみやかに同意が得られる事務処理の実施ができる状態。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財産区が所有する基金管理の各種事務、隣接地等の申請に基づく土地境界明示、立会、財産管理のため現地調査、土地等の処分、貸付・占用許可事務を行う。</li> <li>・財産区地域公共事業等交付金の交付を行う。</li> </ul>											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						管理主体を明確にし、適正な財産管理ができる。				財産区が所有する基金管理の各種事務、隣接地等の申請に基づく土地境界明示、立会、財産管理のため現地調査、土地等の処分、貸付・占用許可事務を行う。			
指標設定	指標説明					交付金事業件数				枚方市財産区地域公共事業等交付金交付件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					59	59	59	59	59	59	59	59
	実績					45				45			
	達成度					76%				76%			
分析					コロナ禍により対象事業の見合わせや延期等が生じ、減少したものと考えている。				交付金事業件数は減少したものの、交付金の交付は適正な事務執行に努めることができた。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,131	7,760	12,630		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	11,131	7,760	12,630		
	物件費計	101,617	41,057	1,015,603	1,027,162	99%	
	歳出計	112,748	48,817	1,028,233			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	101,617	41,057	1,188,494	1,202,609		
	歳入計	101,617	41,057	1,188,494	1,202,609		
	一般財源	11,131	7,760	▲ 172,891	▲ 175,447		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	財産区地域公共事業等交付金の交付申請45件(交付金額は、39,528,342円)
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	正確かつ迅速な事務遂行に努め、現状のまま事務を執行する。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	総務管理事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	総務部				課	総務管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり											
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性			内部事務			区分		一般内部管理事務		
事業期間	不明			年度		~		年度まで						
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称												サンセット		~
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		事務機器等の入替や効率的な運用・配置が行われている必要がある。											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事務機器等を適正に配置し、庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行できる環境が整っている状態。													
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・共用物品購入、管理事務</li> <li>・事務機器管理事務</li> <li>・総務管理事務(浄書事務・郵便事務)</li> </ul>													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
					事務機器等を適正に配置し、円滑な業務執行が行える環境が整っている。				適正な事務機器の運用					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明				適切な点検委託が行われた事務機器の割合 【算出式:点検委託件数/点検対象となった事務機器数×100】				点検委託対象となった事務機器数					
	単位				単位				%					
	指標種類				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値		R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)						100	100	100	100	14	14	14	14
	実績						100				14			
達成度				100%				100%						
分析				想定どおりであった。				想定どおりであった。						

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,566	8,017	7,975		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	73	27	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	5,639	8,044	7,975		
	物件費計	36,463	37,252	35,786	39,166	91%	
	歳出計	42,102	45,296	43,761			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	1,073	657	498	647		
	歳入計	1,073	657	498	647		
一般財源		41,029	44,639	35,288	38,519		

5. 総括的分析

総括的分析	庁舎内の共用物品の購入や事務機器等を適正に管理し、庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行することができた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	庁内での事務をより効率的に執行できるよう引き続き取り組む。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	公有財産管理事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	総務部				課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	地方自治法等						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	公有財産を所管する部・課の職員(財産取扱主任等)					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	公有財産の維持・保存のための適正管理を図ることが出来ない。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	所管する公有財産の把握、維持管理に必要な事務(境界明示、測量等)の理解、維持管理費用の予算化を行い、適切な維持管理が行うことができる状態。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>普通財産の処分、賃貸借等を行う。</li> <li>行政財産等の管理に関する協議を行う。</li> <li>財産台帳の調整(更新)を行う。</li> <li>市有地の測量、登記を行う。</li> <li>建物総合損害共済の加入及び全国市長会市民総合賠償補償保険の請求事務を行う。</li> </ul>						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル						適正な公有財産の維持管理や取得、処分事務ができる。				普通財産の取得、管理及び処分、行政財産の管理の総括事務の他、市有建築物等の損害共済及び賠償補償保険の加入及び請求手続の事務を行う。			
指標設定	指標説明					財産管理課所管財産にて処分、維持管理、取得を行った件数。				各年度の普通財産等処分件数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					11 11 11 11				9 9 9 9			
	実績					17				10			
	達成度					155%				111%			
分析						市有地の処分及び有償貸付を進めることにより適切な財産管理に努めた。				概ね目標どおりに処分手続きを完了した。			

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	4,373	6,887	12,191		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,373	6,887	12,191		
	物件費計	12,724	14,594	15,088	14,289	106%	
	歳出計	17,097	21,481	27,279			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	286	286		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	90,621	80,695		
	歳入計	0	0	90,907	80,981		
	一般財源	17,097	21,481	▲ 75,819	▲ 66,692		

5. 総括的分析

総括的分析	年間を通して適切な財産管理が図れた。
-------	--------------------

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き適切な財産管理に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	土地開発公社運営事務										
測定年度	2020 (R2) 年度			部	総務部			課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり								
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます								
	実行計画名										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務	
事業期間	2006 (H18) 年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	枚方市土地開発公社				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	公社が保有する長期保有地等の保有簿価が増加しないよう、計画的な市からの買戻しが必要であり、毎年度定める、経営指標を下回る必要がある。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	公社が保有する公共用地の買戻し等の実行により、保有簿価を縮減し、経営指標の維持をめざす。					
事業概要	枚方市土地開発公社の経営健全化に向けた取り組みを行う。					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
						国の定める経営指標値を下回り、健全な経営状況を維持できる。				公社が保有する長期保有地等の保有簿価が増加しないよう、保有簿価の管理を行う。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)				
	指標説明					標準財政規模に対する公社保有額の割合 (国が定める経営指標) 【算出式: 保有額/市の標準財政規模】				各年度末保有簿価			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				減少することが良いとされる指標				減少することが良いとされる指標			
	目標 (見込み)					0.2未満 0.2未満 0.2未満 0.2未満				5,314,000 4,969,000 4,635,000 4,301,000			
	実績					0.07				5,222,782			
	達成度									102%			
分析					経営指標を下回ることができた				保有簿価が減少した				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	0.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	7,553	8,017	7,178	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	7,553	8,017	7,178	
	物件費計	0	0	0	0	—
	歳出計	7,553	8,017	7,178		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	7,553	8,017	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析 令和2年度の新規取得は約5億8700万円、市への買戻しは約6億5400万円であり、差引6700万円の減となった。令和2年度は長尾杉線整備事業用地の新規取得が進んだため、取得額が当初予定していた買戻し額を上回っていたが、年度末に補正予算により追加で約3億円の買戻しを実施したため、最終的に保有額の減となった。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	令和4年度には公社の存廃について検討を行う予定としており、長期保有地の定期的な買戻し、新規取得についての土地特別会計の活用、公社借入金金利の抑制などの課題について継続的に取り組む。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	不動産鑑定等事務												
測定年度	2020 (R2) 年度				部	総務部				課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務		
事業期間	不明		年度	~	年度まで		
根拠法令等	地方自治法、不動産登記法等						
関係補助金名称				サンセット	~		
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	事業用地の取得、公有財産の処分、賃貸借等しようとする部・課の職員					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	事業用地の取得、公有財産の処分、賃貸借等を適正に実施することができない					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業用地の取得、公有財産の処分、賃貸借等を適正に実施することができる状態						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・開発事業による寄付、帰属を受けた土地に係る嘱託登記を行う。</li> <li>・事業用地の取得にあたり、適正な補償金の算定を行う。</li> <li>・事業用地の取得、公有財産の処分、賃貸借等にあたり、適正な価格の算定を行う。</li> <li>・各価格等を審査するため、外部委員が参画する不動産価格等審査委員会の運営を行う。</li> </ul>						

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						寄付、帰属を行うことで法的にも適切な管理を行うことができる。				開発区域内で寄附・帰属を受けた物件の登記を行う。			
指標設定	指標説明					寄付、帰属の登記件数(当該年度)				寄附・帰属物件数(当該年度)			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					133	133	133	133	133	133	133	133
	実績					81				81			
	達成度					61%				61%			
分析					例年より開発が少なかった結果、件数も少なかった。				例年より開発が少なかった。				
ロジックモデル②						事業用地の取得を円滑に行える。				事業用地の取得にあたり、適正な補償金を算定する。			
指標設定②	指標説明					補償金算定件数				補償業務発注件数			
	指標種類	単位				単位 件				単位 件			
	指標数値	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					3	3	3	3	3	3	3	3
	実績					4				4			
	達成度					133%				133%			
分析					想定通りであった。				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	16,414	8,161	8,463		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	211	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	16,625	8,161	8,463		
	物件費計	29,992	21,634	43,803	77,277	57%	
	歳出計	46,617	29,795	52,266			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
	一般財源	46,617	29,795	43,803	77,277		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	寄付、帰属の登記件数を除き、指標の達成は概ね想定通りであった。
-------	---------------------------------

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き、所要の事務を円滑に処理できるようなアウトカムを意識したインプットとアウトプットを行う。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	土地取得特別会計繰出金事務												
測定年度	2020(R2)年度				部	総務部				課	総務管理室		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標		31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務		区分	庶務的内部管理事務						
事業期間	不明		年度	～		年度まで						
根拠法令等	枚方市特別会計設置条例											
関係補助金名称						サンセット	～					
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット		枚方市土地取得特別会計									
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題		一定の基準等に基づき、一般会計から特別会計への繰出を行う必要がある。									
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	土地取得特別会計の収支均衡が図られ、維持している状態。											
事業概要	一定基準に基づき、一般会計から特別会計への繰出金を支出する。											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)											
指標設定	アウトカム (活動効果)													アウトプット (活動結果)					インプット (活動)			
	指標説明													単位					単位			
	指標種類													単位					単位			
	R2													R2					R2			
	R3													R3					R3			
	R4													R4					R4			
	R5													R5					R5			
目標数値 (見込み)																						
実績																						
達成度																						
分析																						

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	795	1,603	798	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	795	1,603	798	
	物件費計	90,892	44,422	0	0	—
	歳出計	91,687	46,025	798		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	0	0	0	0	
	一般財源	91,687	46,025	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	令和2年度は一般会計からの繰出金支出は発生していない。 なお、今後も土地取得特別会計を活用した公共用地の取得が見込まれることから、そのあり方については引き続き検討を進める。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	土地取得特別会計を活用した公共用地の取得が行われた場合には、一般会計からの繰出金支出を含め特別会計の収支均衡を維持していく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	総務管理室車両管理事務						
測定年度	2020(R2)年度	当初	部	総務部	課	総務管理室	
市長公約との関係	所信表明	市政運営方針	R2	R3	R4		
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり					
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます					
	実行計画名						

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	枚方市安全運転管理者等設置規程、枚方市庁用自動車管理規程					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	公用車を利用する職員				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>公用車が適正に配置されている必要がある。</li> <li>公用車事故の防止及び安全運転意識の向上を図る必要がある。</li> </ul>				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	安全かつ円滑な車両の配置・運用が行われている状態。					
事業概要	<p>公用車の管理及び整備。          車両予約システムにより、共用の公用車の円滑な利用を図る。          職員が安全運転や危機予測による事故防止に努める意識を持つため、各種研修会等を実施する。          公用車による事故の適正な措置や今後の対策を講ずるための自動車事故審査委員会、幹事会の開催。</p>					

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	安全に公用車が運用されている状態。				インプット (活動)	適正な公用車の管理。					
	指標説明					アウトカム (活動効果)	故障が原因でのJAF出動要請件数				アウトプット (活動結果)	適切な点検を行った公用車の割合 【算出式:点検実施台数/点検対象台数×100】					
指標設定	指標種類	単位				単位				件	単位				%		
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					0	0	0	0	100	100	100	100	100	100	100	100
	実績					0				100							
	達成度					100%				100%							
	分析					公用車の適切な点検整備を行った。				法定点検等適切な管理を行った。							
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)	職員が各種研修会等を受講し、安全運転や危機予測等の意識が醸成されている。				インプット (活動)	安全運転や危機予測等の意識醸成を目的とした各種研修会等を実施。					
	指標説明					アウトカム (活動効果)	研修により、安全運転や危機予測等の意識が向上したとされる職員の割合 【算出式:アンケートで意識が向上したと回答した人数/アンケート回答人数×100】				アウトプット (活動結果)	安全運転講習会の開催回数					
指標設定②	指標種類	単位				単位				%	単位				回		
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)					100	100	100	100	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績					100				2							
	達成度					100%				100%							
	分析					達成				達成							

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	3.20
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.80
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	16,992	18,501	17,481		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,788	2,788	3,132		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	19,780	21,289	20,613		
	物件費計	32,256	34,879	25,576	30,657	83%	
	歳出計	52,036	56,168	46,189			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	517	287	432	425		
	歳入計	517	287	432	425		
	一般財源	51,519	55,881	25,144	30,232		

#### 5. 総括的分析

総括的分析	<p>車両予約システムにより、公用車の円滑な利用を行った。          また、公用車事故防止対策の取り組みとして、年2回の安全運転講習会等を通じて安全運転に対する意識向上を図ることが出来た。</p>
-------	--

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<p>公用車事故防止及び安全運転意識の向上に向け、安全運転講習会等により職員の意識啓発に努める。          また、「公用車事故防止特別対策ガイドライン」令和元年9月改訂版の周知徹底をはじめ、有効な事故防止対策を継続的に行う。</p>

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	庁舎維持管理業務												
測定年度	2020 (R2) 年度			部	総務部				課	総務管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標			6.計画の推進に向けた基盤づくり									
	施策目標			31.持続可能な行財政運営を進めます									
	実行計画名												

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務								
事業期間	不明		年度	～	年度まで								
根拠法令等	枚方市庁舎管理規則、枚方市役所防火管理規程												
関係補助金名称								サンセット					
関係附属機関名称													

事業対象	メインターゲット	総務管理課で所管している庁舎への来庁者										
	サブターゲット	総務管理課で所管している庁舎で勤務している職員										
	ターゲットが抱える課題	総務管理課で所管している庁舎の利用者が、安全に利用できるよう施設保全や保守点検等が行われている必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	総務管理課で所管している庁舎の利用者が施設を安全かつ快適に利用できている状態。											
---------------------------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>1. 維持管理する庁舎概要</p> <p>①本庁舎(本館・別館)ー所在地:大垣内町2-1-20、建築年:本館 昭和35年、別館 昭和44年、延床面積:約17,649㎡、構造・階数:SRC6</p> <p>②分館ー所在地:大垣内町2-9-15、建築年:昭和63年、延床面積:約2,156㎡、構造・階数:S4</p> <p>③第2分館ー所在地:大垣内町2-9-21、建築年:昭和46年、延床面積:約907㎡、構造・階数:RC2</p> <p>④サブリ村野ー所在地:村野西町5-1、建築年:昭和48年、延床面積:約3,247㎡、構造・階数:RC2</p> <p>⑤輝きプラザきららー所在地:車塚1-1-1、建築年:平成4年、延床面積:約3,758㎡、構造・階数:SRC8</p> <p>⑥分室(ひらかたサンプラザ1号館6階一部)ー所在地:岡東町12-1、建築年:昭和50年、延床面積:約234㎡、構造・階数:SRC6</p> <p>⑦分室(ひらかたサンプラザ3号館4階一部)ー所在地:岡東町12-3、建築年:昭和50年、延床面積:約771㎡、構造・階数:RC5</p> <p>※1 構造:SRC-鉄骨鉄筋コンクリート造、RC-鉄筋コンクリート造、S-鉄骨造</p> <p>※2 施設形態:④・⑤については庁舎と公の施設との複合施設、⑥については区分所有、⑦については借家</p> <p>2. 活動項目</p> <p>①庁舎施設管理(設備等保守管理、設備運転・監視、保安・警備、衛生管理、営繕業務等)</p> <p>②付帯施設管理(来庁者用駐車場・自転車駐車場)</p> <p>③管理サービス(庁舎受付、宿日直受付)</p> <p>3. 活動内容</p> <p>設備に係る各保守点検や警備、清掃など業務委託を活用する他、照明やトイレ設備など設備更新時において節電や節水機能を向上させるとともに使用電力の競争入札を実施するなど維持管理経費削減の取組みを進め、利用者にも満足いただけるような安全で快適な庁舎環境を来庁者、職員に提供する。</p>											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
					総務管理課で所管している庁舎の利用者が施設を安全かつ快適に利用できている。				総務管理課の所管している庁舎の適切な維持管理を実施。			
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
	指標説明				修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。 【算出式:決算額/当初予算額×100】				対象施設について、適切な点検を行った割合 【算出式:点検数/対象施設数×100】			
	指標種類				減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標 (見込み)				100以内 100以内 100以内 100以内				100 100 100 100			
	実績				88.31				100			
達成度				88%				100%				
分析				当初予算の範囲内で執行ができた。				想定どおりであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	6.08
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	14.51
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	40,224	48,538	47,211	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	28,313	29,037	34,893	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	68,537	77,575	82,104	
	物件費計	389,249	359,500	431,098	454,846	95%
	歳出計	457,786	437,075	513,202		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	0	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	55,800	62,200	
	その他	27,623	2,980	2,007	3,175	
	歳入計	27,623	2,980	57,807	65,375	
	一般財源	430,163	434,095	373,291	389,471	

#### 5. 総括的分析

総括的分析 輝きプラザきらら昇降機設備について、既存の部品供給が停止するため、庁舎の安全性及び機能性を維持し延命化を図ることを目的として、枚方市市有建築物保全計画を前倒し、更新工事を行った。  
 また、庁舎の緊急補修等についても迅速な対応を行った。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も来庁者、職員に安全かつ快適な庁舎環境を提供できるよう適切に維持管理を行う。 また、枚方市市有建築物保全計画に基づく維持保全工事等を実施する。 なお、維持保全工事や改修等においては、工事内容の精査や工事手法等の工夫を行い、経費の削減に取り組む。 本庁舎駐車場については、運営事業者と適宜協議等を行い、適切な運用に努める。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	市有資産等有効活用促進事務											
測定年度	2020(R2)年度			部	総務部			課	総務管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり										
	施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます										
	実行計画名	計画推進3-2.公共施設の適正化										

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	内部事務	区分	一般内部管理事務							
事業期間	不明			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁等											
関係補助金名称	サンセット											~
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	市有資産を有効活用することにより財源確保・歳出削減をめざす資産所管部署										
	サブターゲット	市有資産を有効活用することにより企業活動の促進をめざす事業者等										
	ターゲットが抱える課題	ネーミングライツや未利用地等、有効活用できる市有資産が多くあるので、有効活用を促進し、財源確保・歳出削減につなげたい。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	ネーミングライツの導入や未利用地等の有効活用を進めることで、財源確保・歳出削減を行う。それと同時に、事業者等は、市有資産を活用することにより企業活動の促進が図れる。											
事業概要	市有資産は原則としてすべて市有資産民間提案制度の対象資産であることを前提に、市有資産の所管部署と連携し、ネーミングライツの導入や未利用地等の有効活用を促進する。											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル						ネーミングライツの導入、未利用地等の有効活用がなされる。				市有資産民間提案制度を活用する。			
指標設定	指標説明					ネーミングライツや未利用地等の有効活用を実施中の件数				市有資産民間提案制度に基づき毎年度募集する対象資産数			
	指標種類	単位				単位				単位			
	指標数値	R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5				R2 R3 R4 R5			
	目標(見込み)					10 12 14 16				20 20 20 20			
	実績					12				19			
	達成度					120%				95%			
分析						PR活動の結果、目標は達成できたものの、コロナ禍の状況の中で応募者が少なかった。				概ね目標どおりの物件数をもって募集できた。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.40
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	10,021	9,310	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	10,021	9,310	
	物件費計	—	0	0	0	—
	歳出計	—	10,021	9,310		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	10,021	0	0	

#### 5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍において応募者が少なかったものの、PR活動の効果等により主要となる総合文化芸術センター本館すべての4施設においてネーミングライツパートナーが決定し、年間1,610万円のネーミングライツ料を得る契約(5年間)を締結した。
-------	---

#### 6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	ネーミングライツ及び未利用地等の有効活用をさらに推進するため、市有資産民間提案制度により民間事業者のアイデアやノウハウを活かした提案を募っていく。

# 事務事業実績測定調査

事務事業名称	総務管理室運営事務											
測定年度	2020 (R2) 年度			部	総務部			課	総務管理室			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	9. 施策体系外										
	施策目標	99. 施策体系外										
	実行計画名											

## 1. 事務事業の概要

種類	内部管理	特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	不明			年度	~	年度まで						
根拠法令等	決裁											
関係補助金名称							サンセット	~				
関係附属機関名称												
事業対象	メインターゲット	総務管理室の職員										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	課の運営を円滑に図る必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	課の運営を円滑に図り、組織としての機能を適正かつ効率的に発揮している状態。											
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総務管理室運営庶務事務</li> <li>・行政財産目的外使用許可事務</li> <li>・自衛官募集に関する事務</li> <li>・照会・回答等庶務事務</li> <li>・行政評価に関する事務</li> <li>・予算差引等予算管理事務</li> <li>・月例報告事務</li> <li>・文書管理事務</li> <li>・財産区特別会計・三財産区会計の予算及び決算に関する事務 等</li> </ul>											

## 2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)					アウトプット (活動結果)					インプット (活動)				
指標設定	指標説明															
	指標種類	単位					単位					単位				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5			
		目標 (見込み)														
		実績														
	達成度															
分析																

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.70
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。  
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費\_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。  
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

#### 4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	25,310	24,742	13,558		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	135	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	25,445	24,742	13,558		
	物件費計	296	136	66	373	18%	
	歳出計	25,741	24,878	13,624			
歳入	国庫支出金	45	23	45	45		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	45	23	45	45		
一般財源		251	113	21	328		

#### 5. 総括的分析

総括的分析 庁内組織の事務・事業が適正かつ効率的に執行することができた。

#### 6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	庁内での事務をより効率的に執行できるよう引き続き取り組む。